

これは、熊野町を元気にする事業です。
熊野を知って、楽しんで、もっともっと熊野を好きになるために「筆の都の案内人」の活動が始まりました。

筆の都の案内人 活動スタート



→観光案内の様子

「筆の都の仕事人 わっしょい！ 元気事業」

観光客も 筆の都の案内人も大満足

4月30日(月)筆の都の案内人(観光ボランティア)が、実際に観光客を相手に町内を案内しました。
当日は10人ほどの観光客が集まり、筆の里工房を出発した後、筆塚や神山神社などを一つずつ説明しながら案内しました。

観光案内の中には、史跡だけでなく筆事業所の見学も盛り込まれています。1回目は長栄堂に協力いただきましたが、2回目は今回は広島筆産業(株)の作業場を見学させていただきました。広島筆産業(株)では、普段は見ることができない珍しい毛の原料や、ドイツ製の混毛の機械なども見学できました。

郷土館まで約2時間の道のり、参加者の方々に喜んでいただくと共に、案内す

る側もとても充実した観光案内となったようです。

筆の都の案内人養成塾

筆の都の案内人養成塾生の条件は「観光客に熊野町を宣伝したい！」と希望される熊野町在住者です。
昨年8月から始まったこの養成塾は、熊野町郷土史研究会による熊野の歴史の勉強会から始まり、ガイドマップ作りや観光についてのノウハウの習得、実際に観光案内をするなど、ワークショップと体験を繰り返しました。最後には、おもてなしの接遇研修も行うなど盛りだくさんのこの講座は、今年2月まで続きます。



←昨年のガイドマップ作りのフィールドワークの様子

筆の都くまの 観光マップ完成

第1期生筆の都の案内人が作った「筆の都くまの観光ガイドマップ」。

今回の観光案内にもこのガイドマップが使われました。ぜひ、手にとって熊野のまちを歩いてみましょう！

マップは地域振興課においてあります。

わしらが うちのが 筆の都の案内人

せつかく熊野に住んでいるのだから、熊野のことをもっと知りたい、知ってもらいたい...そんな気持ちを持つ方が「筆の都の案内人」として活動しています。現在案内人は14人の登録があります。そのうち今回参加した案内人に話を聞いてみました。



後迫茂輝さん(城之堀→) 「案内人を実際に行って一番課題になったのは時間の運び方です。つい一箇所で説明時間が長くなり別の観光地の説明ができなくなってしまったことです。しかし、案内人のチーム



ワークで観光客をもてなすことができたと思います。これからは、昨年の講座や実際に案内人を行って行く中で気づいた課題をうまく解決できればと思います。」
是田通子さん(平谷→) 「私は、以前から、地方に行く観光案内されるボランティアの方やガイドの方に大変興味があり、熊野でもこんな観光ボランティアがあったらいいのと思ったので参加をしました。熊野町に観光バスが来ているのを見かけるとうれしくなります。全国の方が熊野町に来ていただきたいと思います。」



世良千鳥さん(出来庭→) 「私は、知り合いの方に声をかけていただきこの案内人を知ることができました。

私は熊野町の建築物にとっても縁があります。郷土館や光教坊、熊野本宮神社など私の祖父が手がけています。今回のこの案内人をすることは、祖父たちの供養のつもりで観光にいられた方にお話をして、感動を与えられたらと思っています。」

椎木正義さん(中溝→) 「観光ボランティアを実際に行っていくと反省する点がいくつか見つかりまし



これから、熊野のまちを観光される皆さんに、熊野を楽しんで好きになっていただけるような「筆の都の案内人」を目指していただきます。」



問合せ先 熊野町雇用促進協議会 298 1600
地域振興課 820 5602